

【観光遺産産業化ファンド】

宿坊協会不動産・IT 開発管理株式会社に対する投資実行について(高野山)

～高野山宿坊協会とDMC 高野山との合弁会社により山内の不動産・体験サービスを活性化！～

株式会社地域経済活性化支援機構(略称 REVIC、以下「機構」という。)は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド(以下「本ファンド」という。)」にて、本日、宿坊協会不動産・IT 開発管理株式会社(以下「宿坊協会不動産IT」という。)への投資を実行するとともに、同社に専門家を取締役 COO*として派遣したことをお知らせいたします。

なお、今回の投資は、本ファンドの第15号案件となります。

宿坊協会不動産ITは、高野山の約50軒の宿坊で構成される一般社団法人高野山宿坊協会の子会社であり、宿坊協会が保有する不動産の開発・管理、および集客増大・生産性向上のためのITシステムを開発・保有する会社として、2023年1月に新設された会社です。当社には、本ファンドの第2号投資案件である(株)DMC高野山も出資しております(※)。

今後、宿坊協会不動産ITは、

①高野山内の不動産として宿坊協会が保有する、奥之院の「新中の橋会館」や中央エリアに位置する「中央案内所」をリノベーションし、地域事業者との連携により、新たなターゲット層にも好まれる土産物やナチュラルセレクトグッズの充実、軽飲食・スイーツコートの展開などを推進することで、VRシアター・カフェ・ショップの複合施設であり(株)DMC高野山が運営する「高野山デジタルミュージアム」を含めた三大ハブ拠点化を推進する。

②山内のお寺や事業者で分散している阿字観(瞑想)・護摩焚き・森林セラピー等の高野山体験をITプラットフォームでとりまとめオンライン販売も手掛けていき、また、GPSやビーコンと連動し文化資源に近づくと自動的に画像付きで説明する高野山ガイド端末等の導入など、ITによる体験サービスの充実・高度化を図る。

これらの活動を通じて、文化遺産拠点における新たな観光モデルを創出し、来訪客の増加と魅力向上、面的活性化を図ってまいります。

本ファンドは、今後も各地の地域事業者への出資や経営支援を行うことで、観光産業その他の地域産業の発達を促進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【投資先および特定専門家(取締役 COO)派遣先の概要】

会社名	宿坊協会不動産・IT 開発管理株式会社
所在地	和歌山県伊都郡高野町大字高野山 49 番地
代表者等	代表取締役 山階 清隆(一般社団法人高野山宿坊協会理事長) 取締役 COO* 大田原 博亮(株DMC 高野山 代表取締役) *COO(Chief Operating Officer):最高執行責任者
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 高野山内の不動産の開発・管理 集客増大・生産性向上のための IT システムの開発・保有

【全体スキーム図】



5

(※)【「株式会社 DMC 高野山」に対する投資実行についての概要】

<https://www.revic.co.jp/pdf/news/2021/210621newsrelease.pdf>

【観光遺産産業化ファンドの概要】

<https://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590